



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月31日

上場会社名 セントラル硝子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4044 URL <http://www.cgco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 清水 正
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理室長 (氏名) 宮内 徹 TEL 03-3259-7062
 四半期報告書提出予定日 2018年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	55,144	0.5	1,787	45.9	2,560	43.6	1,755	78.5
2018年3月期第1四半期	54,855	△0.1	1,225	△57.9	1,783	△38.7	983	△55.2

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 △649百万円 (—%) 2018年3月期第1四半期 2,926百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	43.37	—
2018年3月期第1四半期	24.04	—

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	314,166	173,925	54.3
2018年3月期	316,846	175,628	54.4

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 170,533百万円 2018年3月期 172,214百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	5.00	—	25.00	—
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2017年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしましたので、2018年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合後の基準で換算した2018年3月期の1株当たり年間配当金は50円となります。

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	113,000	2.6	3,500	30.1	3,900	17.3	2,700	43.4	66.53
通期	230,000	1.0	8,000	32.5	9,000	42.2	6,200	108.0	152.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	42,975,995株	2018年3月期	42,975,995株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	2,503,823株	2018年3月期	2,503,508株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	40,472,380株	2018年3月期1Q	40,908,362株

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の緩やかな増加等を背景に企業収益の改善が進んでおり、雇用環境の改善が着実に続く中、個人消費にも持ち直しの動きが続いており、景気は全体として緩やかな回復基調で推移しました。

一方、世界経済は、米国では企業収益の改善や良好な雇用環境を背景に景気回復が続いているものの、米中の貿易摩擦など保護貿易主義的な政策の拡大による貿易取引の停滞懸念、世界的な地政学的リスクの高まりなどにより、先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは積極的な販売活動を展開いたしました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は55,144百万円と前年同期比0.5%の増加となりました。

損益面につきましては、経営全般にわたる業務の効率化・合理化施策を推進してまいりました結果、経常利益は前年同期比777百万円増加の2,560百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比772百万円増加の1,755百万円となりました。

セグメント別の概況

(ガラス事業)

建築用ガラスにつきましては、新設住宅着工戸数は前年と比較し減少しており、また、工期遅れ等の影響もあり、売上高は前年同期を下回りました。

自動車用ガラスにつきましては、国内は堅調であったものの、北米での販売の減速、為替の影響もあり、売上高は前年同期を下回りました。

以上、ガラス事業の売上高は34,569百万円(前年同期比2.9%減)となり、損益につきましては525百万円の営業損失(前年同期比211百万円の改善)となりました。

(化成品事業)

化学品につきましては、HF0製品の出荷は堅調に推移しましたが、弗酸・PACの出荷が前年同期を下回ったため、売上高は前年同期を下回りました。

ファインケミカルにつきましては、医薬品関連製品の販売が好調に推移し、リチウムイオン電池用電解液製品の出荷が増加したため、売上高は前年同期を上回りました。

肥料につきましては、省力肥料を中心に出荷が堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

ガラス繊維につきましては、電材分野が堅調に推移し、売上高は前年同期並みとなりました。

以上、化成品事業の売上高は20,574百万円(前年同期比6.9%増)となり、損益につきましては2,313百万円の営業利益(前年同期比350百万円の増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ、新規投資などにより投資有価証券が1,796百万円増加する一方、売上債権が1,507百万円、配当の支払や新規投資などにより現金及び預金が2,005百万円減少したことなどにより、2,680百万円減少し314,166百万円となりました。

負債は、その他流動負債が1,317百万円、借入の増加などにより有利子負債が1,587百万円増加する一方、仕入債務が1,625百万円、税金の支払等により未払法人税等が1,119百万円、賞与引当金が959百万円減少したことなどにより、977百万円減少し140,240百万円となりました。

純資産は親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が1,755百万円増加する一方、配当の支払により1,011百万円、円高などにより為替換算調整勘定が2,359百万円減少したことなどにより、1,703百万円減少し173,925百万円となりました。また、自己資本比率は0.1ポイント減少し54.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間につきましては、ほぼ計画に沿った業績で推移しておりますため、2018年5月10日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は修正しておりません。この業績予想は、当社が現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因によりこれらの予想とは異なる場合があります。今後の状況の変化に伴う影響を慎重に見極めながら、適宜見直していくこととしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,673	20,668
受取手形及び売掛金	51,155	49,647
商品及び製品	25,353	25,067
仕掛品	4,932	5,334
原材料及び貯蔵品	15,975	16,121
その他	6,376	5,849
貸倒引当金	△669	△627
流動資産合計	125,797	122,060
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	30,692	30,943
機械装置及び運搬具(純額)	45,768	44,107
土地	26,664	26,552
建設仮勘定	15,511	16,244
その他(純額)	3,513	3,600
有形固定資産合計	122,150	121,448
無形固定資産		
その他	1,519	1,444
無形固定資産合計	1,519	1,444
投資その他の資産		
投資有価証券	60,994	62,791
その他	6,656	6,692
貸倒引当金	△272	△271
投資その他の資産合計	67,379	69,212
固定資産合計	191,049	192,105
資産合計	316,846	314,166

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,333	20,708
短期借入金	23,792	26,651
未払法人税等	2,076	957
賞与引当金	1,480	520
その他	21,795	23,112
流動負債合計	71,478	71,950
固定負債		
社債	30,400	30,400
長期借入金	16,836	15,565
役員退職慰労引当金	12	12
特別修繕引当金	5,729	5,669
事業構造改善引当金	3,108	2,958
環境対策引当金	15	11
退職給付に係る負債	7,650	7,664
その他	5,986	6,006
固定負債合計	69,740	68,289
負債合計	141,218	140,240
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,168	18,168
資本剰余金	8,109	8,109
利益剰余金	124,255	124,860
自己株式	△6,392	△6,392
株主資本合計	144,141	144,746
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,282	27,173
繰延ヘッジ損益	37	223
為替換算調整勘定	489	△1,869
退職給付に係る調整累計額	263	260
その他の包括利益累計額合計	28,072	25,787
非支配株主持分	3,414	3,391
純資産合計	175,628	173,925
負債純資産合計	316,846	314,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	54,855	55,144
売上原価	44,601	44,372
売上総利益	10,254	10,771
販売費及び一般管理費	9,029	8,983
営業利益	1,225	1,787
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	653	706
持分法による投資利益	63	79
為替差益	—	125
その他	451	338
営業外収益合計	1,173	1,255
営業外費用		
支払利息	128	147
為替差損	51	—
固定資産廃棄損	150	105
たな卸資産廃棄損	14	97
その他	271	132
営業外費用合計	615	482
経常利益	1,783	2,560
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産売却損	15	—
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	16	—
税金等調整前四半期純利益	1,767	2,560
法人税等	709	659
四半期純利益	1,057	1,900
非支配株主に帰属する四半期純利益	74	145
親会社株主に帰属する四半期純利益	983	1,755

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	1,057	1,900
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,305	△108
繰延ヘッジ損益	△63	186
為替換算調整勘定	△1,287	△2,509
退職給付に係る調整額	△15	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	△71	△114
その他の包括利益合計	1,868	△2,550
四半期包括利益	2,926	△649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,844	△710
非支配株主に係る四半期包括利益	82	60

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

1 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,599	19,255	54,855	—	54,855
セグメント間の内部 売上高又は振替高	47	234	281	△281	—
計	35,647	19,489	55,137	△281	54,855
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	△737	1,962	1,225	—	1,225

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	34,569	20,574	55,144	—	55,144
セグメント間の内部 売上高又は振替高	32	223	256	△256	—
計	34,602	20,798	55,400	△256	55,144
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	△525	2,313	1,787	—	1,787

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。